

業務移管で職場は大混乱！

故障報告書は誰が書くの？

7月25日、大阪仕業検査車両所で仕業検査担当者に「B8編成、8号車16B席 インアームテーブル水平にならず」との故障申告があり、それに対して、修繕し報告書の提出も必要との作業指示書がありました。

7月から仕業検査時の客室検査は、SEKに業務委託することになりました。そこで、SEKの客室検査担当者が調査したところ「インアームテーブル中間部にガタ有り、取替が必要」と判断しました。しかし、取替る部品がなかったため、仕方なくそのまま「継続」扱いにしました。

ここで問題が発生しました。その報告書は誰が書くのかということです。

当然、客室検査を行ったSEKの担当者が書くのが当たり前ですが、実物を見てもいないJRのA担当が書くのではないかと意見が分かれました。

いったい、どうなっているの？現場は大変だ！

そこで5：55分頃 この報告書について井上助役に確認しました。

社員：井上助役、B8編成の作業指示が出ていたと思うけど、作業報告書はJRが書かないと駄目なの？SEKの作業だからSEKが書くんじゃないのか。

助役：わかりました。確認しておきます。

6：40頃 仕業申告詰所で井上助役から報告がありました。

助役：報告書ですけど、JRで書くことになっているからJRで書いて下さい。

社員：それは違うんじゃないの、SEKの作業でSEKの責任施行なんだからSEKが書かないとおかしくなる。

助役：違うんです。報告書はどこに出す報告書ですか。JRに出す報告書です。だから、SEKの人から聞いてJRが書いて下さい。

社員：あくまでSEKの責任施行です。JRが書くのはおかしい。

助役：JRで書いて下さい。そうになっています。

社員：書けと言うなら書くけど、間違っている。おかしいということは伝えておく。

井上助役と米沢科長、嘘つきはどっち？

井上助役は「報告書は実物を見てもいないJR社員が書くものだ」と言っています。しかし、米沢科長は7月からの「SEKの業務移管」の説明や8月3日から行われる「仕業検査における伝達・連絡ルート等の変更」の説明においても一貫して、「客室検査で発生した作業のポンチ絵や故障報告書はSEKの客室検査担当者が作成する」と明言しています。